

2020年度「法政基礎論B」(人社会学域GS科目)
期末試験解答例(2021年2月9日(火)5限実施)
足立英彦(法理学)出題分

2. 天秤と剣をもつ「正義の女神」について、つぎの問いに答えなさい。

- (1) 正義の女神について、自分で調べたことに基づき説明しなさい。なお、目隠しの有無とその含意については説明しなくてよい。

解答例

正義の女神は司法や裁判における正義を象徴するものとされ、様々な国の裁判所、司法を管轄する公的機関、法律事務所、法曹養成の教育機関などにその彫像が置かれていたり、それを描いた絵画が掲げられていたり、組織のシンボルとして用いられている。起源は古代エジプトの女神マアト(Ma'at)や古代ギリシャの女神テミス(Themis)とされる。マアトは真理を象徴するダチョウの羽を頭に刺しており、死者の魂を象徴する心臓とダチョウの羽を天秤で測り、魂の善悪を測り、善ければ死後の世界へ、悪ければ地獄へ送った。ギリシャ神話の古の巨人の女神テミスは秩序や法を象徴するとされ、オリュンポス12神の主神であるゼウスの妻となり、ゼウスに助言をし、世界を生み出すことを助けた。ゼウスとテミスの娘の一人であるディケー(Dike)は正義を象徴する女神であるとされる。その正義は単に既存の法や秩序を擁護するものではなく、より客観的・批判的にそれらの正しさを判断する尺度である。いずれにせよテミスとディケーは、自ら行動するのではなく、ゼウスに助言をし、ゼウスのつくる世界が正しくあるよう方向づける役目を果たしたという共通点がある。

古代ローマにおいてテミスやディケーはローマ神話の女神ユスティティア(Iustitia)に置き換えられた。このラテン語のIustitia*1が現在の英語で正義を意味するjustice、裁きを意味するjudgingの語源である。現在に伝わる彫像の、または絵画やシンボルなどで描かれている正義の女神の多くはこのユスティティアであるとされる。

ところで、マアト、テミス、ディケー、ユスティティアはすべて女性の神である。男性ではなく女性である理由については想像するしかないが、女性は生命を生み出す性であり、そのことが、世界を生み出し、それに秩序を与え、育て、見守る者の存在の象徴として利用されたのではないかと考えることも可能であろう。

正義の女神は両手にそれぞれ天秤と剣を持っている。天秤は古代より重さを測る器具として利用されていたが、天秤が何の重さを測っているのかについては様々な解釈が可能であろう。たとえば一方の皿に人がなした行為を、他方にその善悪を測る重りを載せ、行為の功罪の重さを測ったり、両方の皿に各当事者の証拠を載せ、どちらの証拠の説得力が重いかを測っている(とくに民事裁判においては、証拠の説得力の重い方が勝

*1 ユスティニアヌスの法学提要(institutiones)冒頭の有名なフレーズ「正義とは各人に彼の権利を与えんとする恒常不変の意思なり」(Iustitia est constans et perpetua voluntas ius suum cuique tribuendi)でも正義(Iustitia)は意思(または意欲、voluntas)であるとされている。(3月7日追記)

つ) のかもしれない。また剣は、下した判断を当事者に強制する力を象徴している。イエーリングが「秤を伴わない剣は裸の実力を、剣を伴わない秤は法 (Recht) の無力を意味する」と指摘しているように、法は行為の善悪を測る尺度 (秤) と実力 (剣) で構成され、どちらが欠けても法とは言えない。両者を兼ね備えた法を体現する者のみが、争いを終結させ、この世に正しい秩序をもたらすのである。

解説 50 点満点で採点した。正義の女神がギリシャ神話のテミスやディケー、またはローマ神話のユスティティアであること、秤が正しさ、または平等の象徴であること、剣が実力の象徴であることを指摘していれば 30 点を与え、それ以上の追加の情報を盛り込めれば、おおむね要素一つにつき 5 点ずつ加点した。

- (2) 正義の女神は天秤で何を測っているのか。授業の内容に基づき、具体例にも言及しながら説明しなさい。

解答例

天秤は 2 つのものの重さが等しいか否かを測る器具であり、等しいこと、すなわち平等の象徴とされる。アリストテレスは等しいこと = 平等を正しいことであるとみなし、この平等の意味での正義を、平均的正義と分配的正義とに分けた。

二者間の関係に対する評価の基準を平均的正義と呼ぶ。アリストテレスは 2 者間の関係を自発的なものと非自発的なものとに分けている。前者は売主と買主、貸主と借主の関係など、後者は加害者 (犯罪者や不法行為者) と被害者の関係である。前者の正しさを交換的正義、後者の正しさを匡正的 (または矯正の) 正義と呼ぶ。

交換的正義とは、両者の同意に基づいて行われる売買や交換において引き渡される物や貨幣の価値が等しいことを意味する。たとえば物の売買において、売主が引き渡す物の価値と買主が支払う貨幣の価値が等しければ両者の関係は正しく、等しくなければ不正である。これに対して矯正的正義は、一方の同意なしに行われる犯罪や不法行為において、罪と罰、損害と賠償の価値が等しいことを指す。加害者が被害者に与える罪 (損害) と、被害者が加害者に課す罰 (賠償) が等しければ両者の関係は正しく、等しくなければ不正である。

平均的正義は 2 者間の正義である。これに対して一人の分配する人と二人以上の分配される人の、すなわち三人以上の関係における正義を分配的正義と呼ぶ。何かを分配する場合において、分配される人の「価値」に応じて分配することは正しく、そうでない分配は不正であるとされる。アリストテレスの分配的正義の要請は、つぎの二つのことを意味する。第一に、同じ価値を持つ人には同じ量のものが分配されなければならない。同じ価値を持つ二人に対して異なったものが分配されてはならないということである。たとえば、時給制のアルバイトにおいて、同じ時間を働いた二人の人に対して異なったアルバイト代を支払うことは不正である。一般に、「等しき者を等しく扱え」というモットーで表現される要請である。第二に、分配される人の価値と分配されるもの

が比例関係になければならない。分配される人の価値を a, b とし、 a, b が受け取るものの価値を A, B とすると、 $a:b$ と $A:B$ が等しくなければならない ($a:b = A:B$)。たとえば同様に時給制のアルバイトにおいて、20 時間働いた人には 10 時間働いた人の倍のアルバイト代を支払わなければならない。

正義の女神の天秤が平均的正義や分配的正義を象徴しているならば、天秤の二つの皿には、平均的正義の場合は一方に引き渡される物が、他方に貨幣が載せられ、または一方に罪や損害が、他方に罰や賠償が載せられる。交換的正義の場合には、一方には一人に分配されるもの（利益や損失）が、他方にその人と同じ価値を持つ人に分配されるものが載せられ、または一方に分配される二人の価値の比が、他方に分配される二つのものの価値の比が載せられ、両者の重さが等しいか否かが測られる。

解説 50 点満点。授業の内容の理解を確認する問題であるので、平均的正義（交換的正義と矯正的正義）と分配的正義についての授業の内容をどの程度再現できているかによって採点した。なお、狭義の比例原則（法が実現しようとする目的と副作用の比較）を挙げた者がいたが、副作用は小さい方がよく、天秤のバランスが崩れていてもよいことから、正義の女神の天秤が狭義の比例原則を象徴していると解することは無理があると思われる。

参考文献

- イェーリング（村上淳一訳）『権利のための闘争』（岩波書店、1982 年）29-30 頁
- 長尾龍一『思想史斜断』（木鐸社、1981 年）34 頁
- 三島淑臣『法思想史〔新版〕』（青林書院、1993 年）18-25 頁
- ラートブルフ（野田良之・阿南成一訳）「法哲学入門」『ラートブルフ著作集 第 4 巻 実定法と自然法』（東京大学出版会、1961 年）174-181 頁
- Sandra Ngo-Trong, 'What Justice Truly Means – Judging Properly with the 13 Symbols of Lady Justice' <<https://chasinggods.com/what-justice-truly-means-judging-with-13-symbols/>> accessed 21 February 2021

参考情報（2021 年 2 月 22 日現在）

- 定期試験結果

履修登録数	問 2 選択者数	平均点
185	9	57.8

- 評価

S(100-90)	A(89-80)	B(79-70)	C(69-60)	不可
0	3	1	2	3